

平成30年度 横須賀西部水産振興事業団

事業報告書

1 事業の概要

1. 事業に関する事項

市民の共有財産である相模湾沿岸の海岸が広く市民に親しまれる憩いの場となるとよう積極的に海岸環境の保全等に取り組むと共に漁業生産の場として広く活用されている相模湾沿岸の水産業の振興に寄与するため事業計画に基づき実施した。

各事業の実施状況は次のとおりである。

(1) 環境保全事業（定款・第4条-第1項-第1号関係）

ア. 海岸清掃のボランティア活動の推進

○6月3日（日）荒崎海岸クリーンフェスタ2018初夏

近隣の方が家族ずれ約150名が参加、荒崎海岸のごみ拾いを行い、ヒラメの放流を体験した。

○7月27日（金）富浦公園前海浜清掃活動

富浦公園前の干潟を守るため、横須賀市と共催で、長井中学校生徒も参加し、アオサ清掃とごみ拾いを行った。

○9月23日（土）荒崎海岸クリーンフェスタ2018秋

近隣の方が家族連れで約150名参加、約1時間荒崎海岸のごみ拾いを行い、クロダイの放流を体験した。

イ. 海浜の清掃活動費の援助

第3回理事会において「平成30年度水産振興事業助成金の交付について」協議し、横須賀市の相模湾沿岸海域における良好な海岸環境の保全のために、漁業協同組合による海浜の清掃活動費（海洋汚染等の原因となる漂流、漂着物、堆積物の処理）について助成金交付を決定した。

○ 横須賀市大楠漁業協同組合 助成金：600,000円

○ 長井町漁業協同組合 助成金：600,000円

上記に基づき、水産振興助成金の交付決定した団体に対して実施状況の確認等を行った。

※ 長井町漁業協同組合においては、長井地先海岸及び沿岸の見守りや海

洋汚染物等の収集、運搬、処理を行い快適な海岸環境の保全に努めるため、大木根地区をはじめ長井地域の7地区の海岸について漁業協同組合員による海岸の一斉清掃活動が平成30年11月2日に実施された。

平成30年12月3日、要綱に沿った完了届と実績報告書が提出されたので助成金を交付した。

※ 横須賀市大楠漁業協同組合においては、大楠地域の佐島地区をはじめ4地区の海岸について、快適な海岸と漁場環境の保全を図るため、海洋汚染物等の収集、運搬、処理が適宜実施され2月末日に完了した。

平成31年3月8日、要綱に沿った完了届と実績報告書が提出されたので助成金を交付した。

ウ. 啓発物品の作成

本年2月、平成31年度の荒崎海岸クリーンフェスタなどのイベントで配布するポケットティッシュ2千個を作成した。

(2) 調査研究・保護培養事業（定款・第4条-第1項-第2号関係）

ア. 調査研究

○4月5日、平成30年度小田和湾藻場保全調査委託（含むアサリ生育調査）を契約した。1月31日に完了した。

○6月1日、平成30年度藻場の保全に関する調査業務委託1と2を契約した。3月25日に完了した。

○アサリ調査について

平成30年度小田和湾藻場保全調査の中で横須賀市に協力して、作業に参加している。

長井のアサリ調査作業参加 9/12 10/9 11/6 12/18 1/22 2/12

大楠のアサリ調査作業参加 9/28 1/9

○平成30年度小田和湾藻場分布調査の市民向けパンフレット2を作成し、1月23日の漁業研修会資料として配布した。

○ワカメ養殖のためのアイゴ対策網の強化に関する調査研究（長井）

平成28年度に実施したワカメ養殖のためのアイゴ対策において、網を作製して、成果があったがその網を複数回使用できるよう改良し、今年度利用した。まだ評価を行っている途中だが前回より進歩が見られる。

（委託費25万円）

○食害生物（ムラサキウニ）等の駆除とその生育に関する調査研究（大楠）

昨年度に引き続き、ムラサキウニやガンガゼが岩場を占領し、海藻類が壊滅している状況でそのムラサキウニを採取し、キャベツを食用と

してウニを養殖するそのシステムを確認し、養殖する施設を設けその生育調査を行った。（委託費 25 万円）

イ、水産物の保護培養事業

水産物の安定供給と海釣りなど県民の健全なレクリエーションの振興をめざすため、以下の種苗放流を実施した。

- ・放流種苗：ヒラメ⇒8,000 尾、・放流実施日：平成 30 年 7 月 9 日(月)
- ・放流種苗：トラフグ⇒10,000 尾、・放流実施日：平成 30 年 7 月 17 日(火)
※荻野小学校 4 年生 25 名が放流体験した。
- ・放流種苗：マダイ⇒8,000 尾、・放流実施日：平成 30 年 7 月 31 日(火)
- ・放流種苗：カサゴ⇒8,000 尾・放流実施日：平成 30 年 9 月 21 日(金)
※種苗放流時に大楠、長井ともに海洋科学高校生徒に放流体験をしてもらい、普及啓発活動を行った。
- ・放流種苗：サザエ⇒1,500 個、アワビ⇒3,000 個
放流実施日：平成 30 年 10 月 16 日(火)（長井地区）
- ・放流種苗：サザエ⇒1,500 個、アワビ⇒3,000 個
放流実施日：平成 30 年 11 月 13 日(火)（大楠地区）

(3) 研修事業（定款・第 4 条-第 1 項-第 4 号関係）

本年度、3 回の研修会を開催した。

ア、研修テーマ：当事業団主催による「海と魚の講演会」

- ・開催日時：平成30年6月29日（水）14時から15時30分
- ・開催場所：横須賀市西コミュニティーセンター
- ・講師：神奈川県水産技術センター主任研究員、加藤健太氏
- ・対象：一般（参加者 20 名）

イ、研修テーマ：平成30年度「海難防止と救急救命研修会」

- ・開催日時：平成30年10月17日（水）14時から16時
- ・開催場所：横須賀市西浄化センター 3 F <会議室>
- ・講師：横須賀海上保安部交通課 狩野高秋氏、川田智士氏
横須賀市消防局救急課 小林隆洋氏
- ・対象：漁業関係者、横須賀市職員、一般（参加者 30 名）

ウ、研修テーマ：漁業、新しい取組みを学ぶ研修会－3

- ・開催日時：平成31年1月23日（水）14時から16時
- ・開催場所：横須賀市西浄化センター 3 F <会議室>
- ・講師：アジア航測(株)環境保全・再生技術部 中村光一氏

東京海洋大学大学院 准教授 藤田大介氏

- ・ 総 括：神奈川県水産技術センター所長 利波之徳氏
- ・ 出 席 者：漁業関係者、横須賀市職員、一般（参加者48名）

（４）広報事業（定款・第4条-第1項-第5号関係）

ア．広報紙作成事業

当事業団の事業活動状況や地域の水産関連等の情報を提供し、水産振興について幅広く市民に理解を深めてもらうため、広報紙「西部水産振興だより(第41号)」を作成し、9月に発行・配布した。また第42号を作成し、3月に発行・配布した。

○発行部数 3,000（無料配布）

※今回も3,000部発行とし、関係機関、学校及び大楠、長井、武山地区の44町内会、自治会に回覧した。

イ、「甦れ、小田和湾の藻場環境Ⅱ」の作成と配布

本年度、調査を実施した小田和湾藻場保全調査の結果として小田和湾の磯焼け対策の状況、水質改善について幅広く市民に理解を深めてもらうため、パンフレット「甦れ、小田和湾藻場環境Ⅱ」を作成し、1月に発行・配布した。また研修会の資料として利用した。

○発行部数 5,000（無料配布）

※関係機関、学校及び大楠、長井、武山地区の44町内会、自治会

（５）経営安定事業（定款・第4条-第1項-第3号関係）

ア．漁業経営資金等助成事業

第3回理事会において「平成30年度経営安定事業に係る漁業経営資金等助成金の交付について」決議された横須賀市の相模湾沿岸海域における漁業生産力の向上と水産物の安定供給に寄与するため、漁業協同組合の経営基盤の強化と漁業経営の安定化を図るために融資を受けたものに対してその返済のため助成金の交付を行った。

○ 長井町漁業協同組合 助成額：3,000,000円（9月1日支出）

○ 横須賀市大楠漁業協同組合 助成額：3,000,000円（12月3日支出）